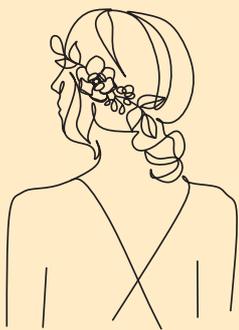


VAGINA CARE

膣活始めよう

健やかに自分らしく生きるために



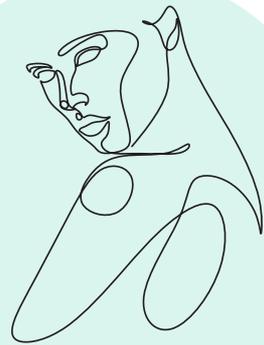
思春期

(月経痛、月経前困難症、無月経)



成熟期

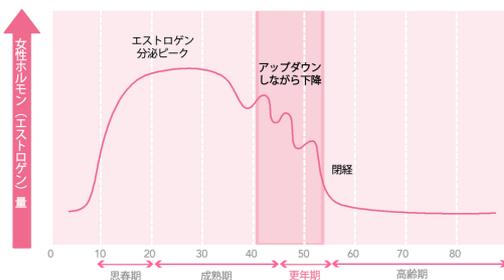
(妊娠・出産、婦人科疾患（子宮筋腫、子宮内膜症）
子宮がん・卵巣がん・乳がん)



更年期

(更年期障害、子宮がん・卵巣がん・乳がん、
生活習慣病、(肥満、動脈硬化、高血圧、糖尿病))

女性ホルモンの分泌量



女性は10代からの月経から始まり、妊娠、出産、そして閉経までと、膣内の環境は大きく変化していきます。

その変化の要因は女性ホルモンであるエストロゲンの分泌量にあります。エストロゲンの分泌量は日々のストレス、生理前後に不安定になったり、加齢などで乱高下したりしながら減少していきます。

このような要因で膣内フローラ乱れるとき、守ってくれるのがラクトバチルスという乳酸菌です。ラクトバチルスから産生される乳酸が膣内やデリケートゾーンを酸性にして外部からの雑菌侵入を防ぎ守ってくれます。

このラクトバチルスが減少してしまい悪さをしそうなる細菌が増えてくると・・・

- むずがゆさ
- ヒリヒリとした痛み、
- おりもののトラブル（量、色、におい）
- 乾燥
- 黒ずみ

無症状のことも・・・！
炎症が広がると不妊や早産、婦人系の病気など
様々な疾患にも繋がります。



細菌性膣炎かも・・・

成人女性の10%-30%が罹患

